

第2節 人が健やかに自立して暮らせるまちをつくる

人が、良好な健康状態を保ち、自らの主体的な意思に基づいて、生き生きと活動し、社会に参加できるまちを実現するため、多様な社会的支援の整備を進めます。

1. 市民の健康づくりを支援する

今、求められていること

- 高齢化の進展やストレス社会が大きな問題となるなか、心身の健康づくりや介護予防などの取り組みの充実が求められています。
- 市民の健康に関する意識が高まる中で、市民の主体的な健康管理や健康の保持増進を支援することが求められています。

取り組みの方向

- 市民の心身の健康を守るため、食習慣や喫煙などの生活習慣の改善を促進するなど、生活習慣病やメタボリックシンドローム*及びがんの予防対策を進めます。
- いつまでも自立した生活が送れるよう、介護予防を充実します。
- 子どもから大人まで、「食」に対する正しい知識と「食」を選択する判断力を身につけるため、家庭や地域・学校などにおける食育*を推進します。

<主要な取り組み>

- 特定健康診査・特定保健指導の推進
- 介護予防の普及・啓発
- 地域介護予防活動の支援
- 食育の推進